

# 河道閉塞等の対応状況について

---

平成26年7月25日

国土交通省 近畿地方整備局  
紀伊山地砂防事務所



河道閉塞箇所及び大規模崩壊箇所における対策方針については、河道閉塞等対策検討委員会（平成24年5月に設置）において検討が行われ、第4回目委員会（平成25年2月）において、各箇所の対策や警戒避難体制などの基本方針がまとめられた。

## 河道閉塞等対策検討委員会 委員一覧（敬称略）

委員長 水山 高久（京都大学大学院農学研究科 教授）

委員 後藤 宏二

（国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター センター長）

委員 千木良 雅弘

（京都大学防災研究所 地盤災害研究部門 教授）

委員 服部 敦

（国土技術政策総合研究所 河川研究室 室長）

委員 藤田 正治

（京都大学防災研究所 流域研究センター 教授）

委員 松村 和樹

（京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授）

## 提言（要旨）

### ○ 河道閉塞等土砂災害対策の基本方針・対策内容

- ・ 目標：崩壊箇所や下流部での土砂・洪水氾濫被害を防止する。
- ・ 考え方：河道閉塞部は可能な限り高さを低くする。  
崩壊地等は残存リスクを想定し、効果的な対策を選定する。
- ・ 計画：100年超過確率規模の降雨量とし、規模これを上回る場合も致命的な破壊に至らない計画とする。
- ・ 施設：対策施設には砂防ソイルセメントを活用。  
配置 河道閉塞部末端には砂防堰堤を設置。維持管理負担が少なくなるよう計画。

### ○ 警戒避難の考え方

- ・ 監視機器等を整備し、関係機関との情報共有を行う。
- ・ 情報提供は迅速に実施。

### ○ 今後の対策にあたっての課題

- ・ 各地区の状況変化等に応じた、適宜見直し検討。
- ・ 水・土砂移動現象のメカニズム解明や新対策手法の検討。



委員会討議状況（平成25年2月14日）

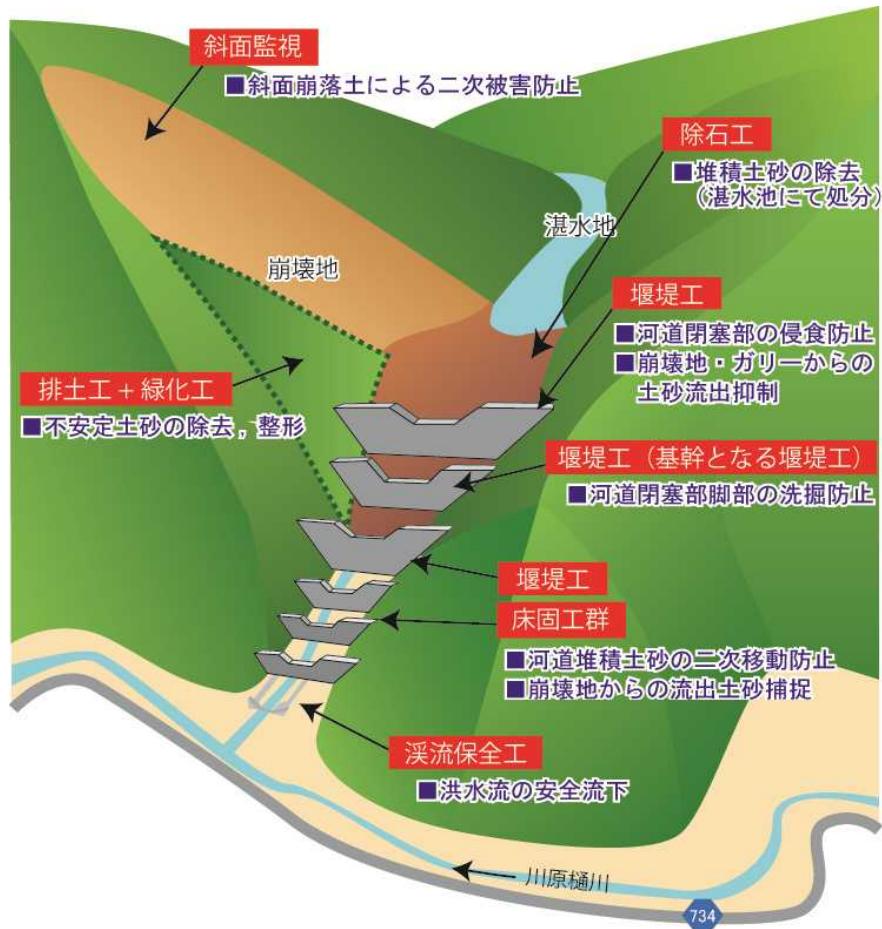


桜井所長(左)へ提言書を手渡す水山委員長

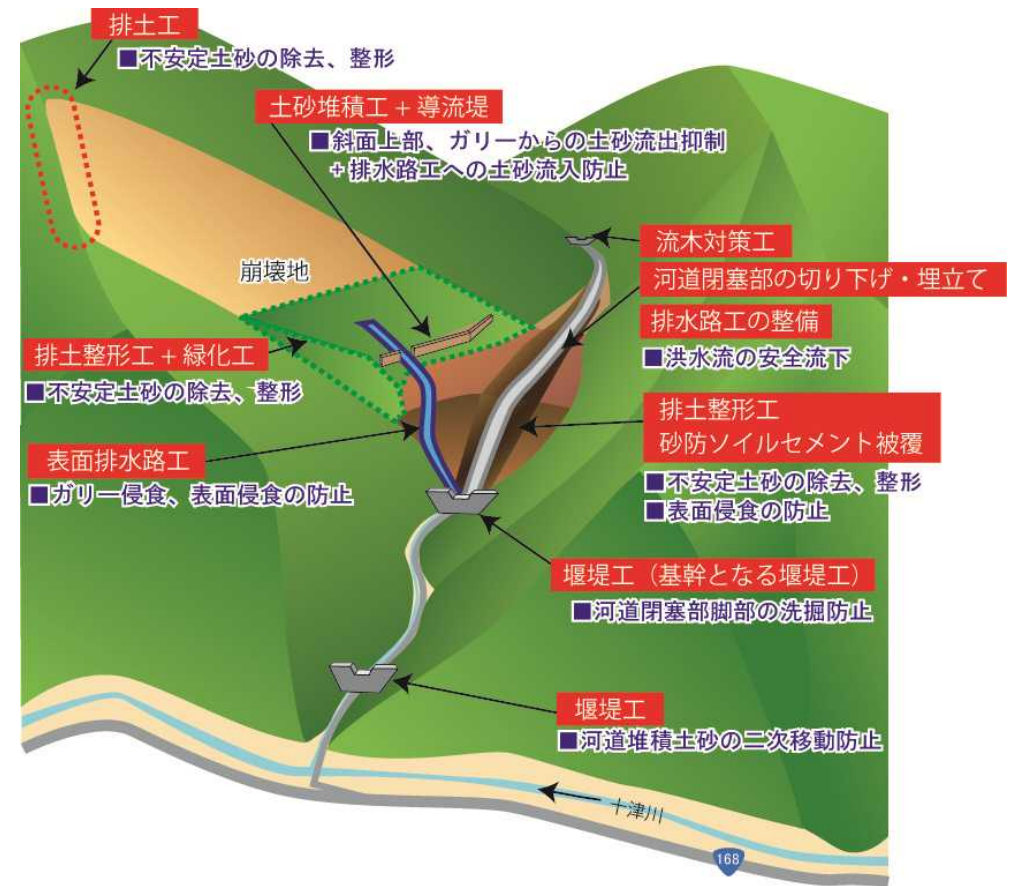


委員会終了後取材を受ける水山委員長

## 赤谷



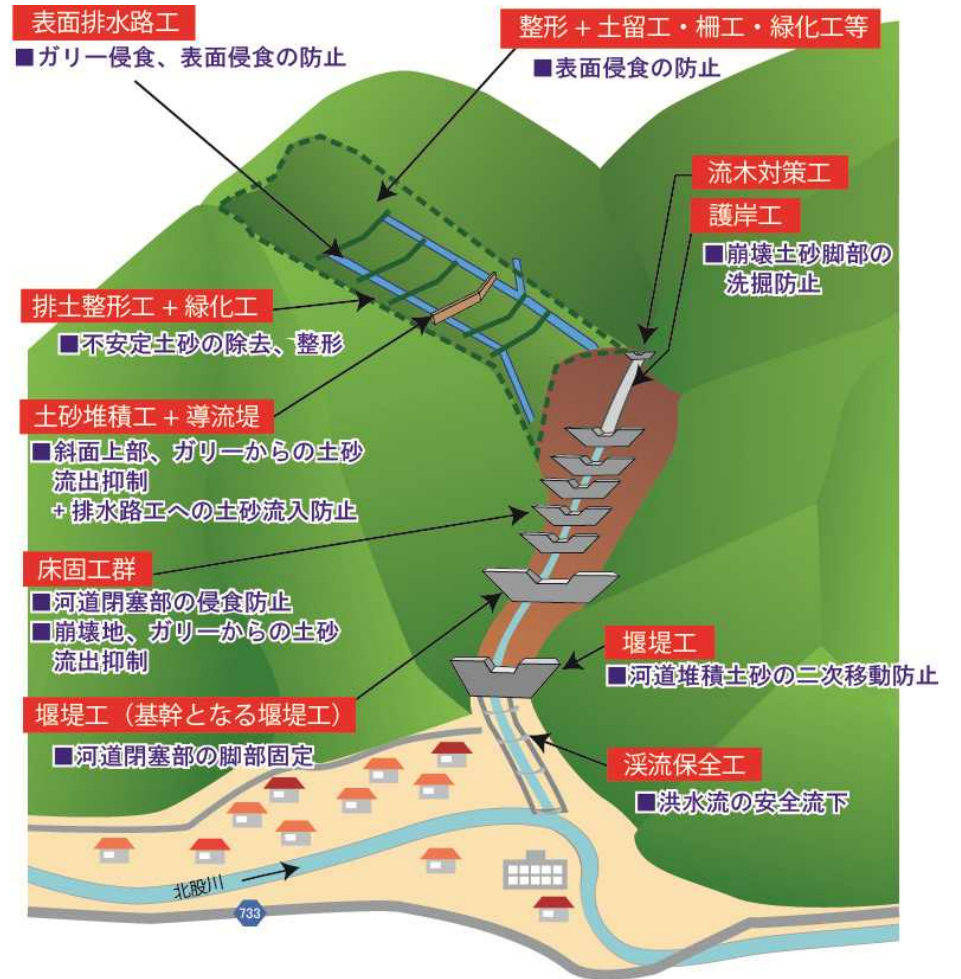
## 長殿



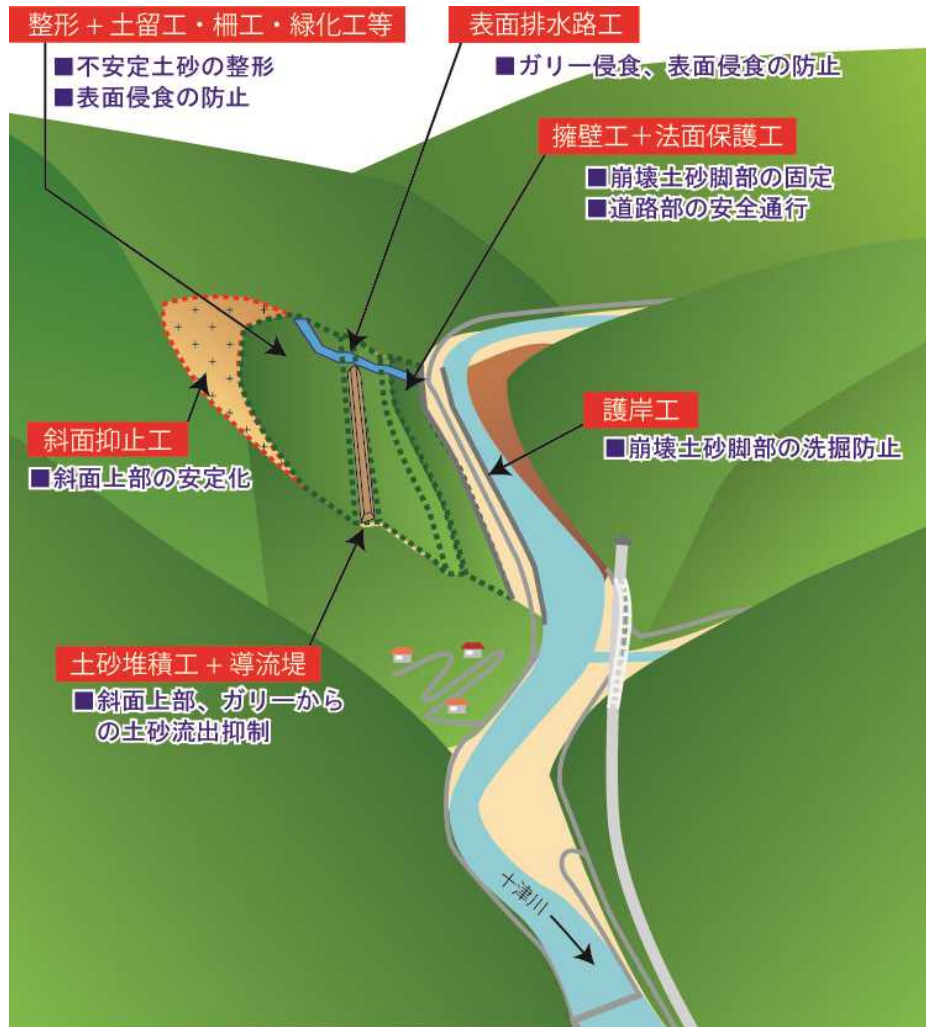
## 栗平



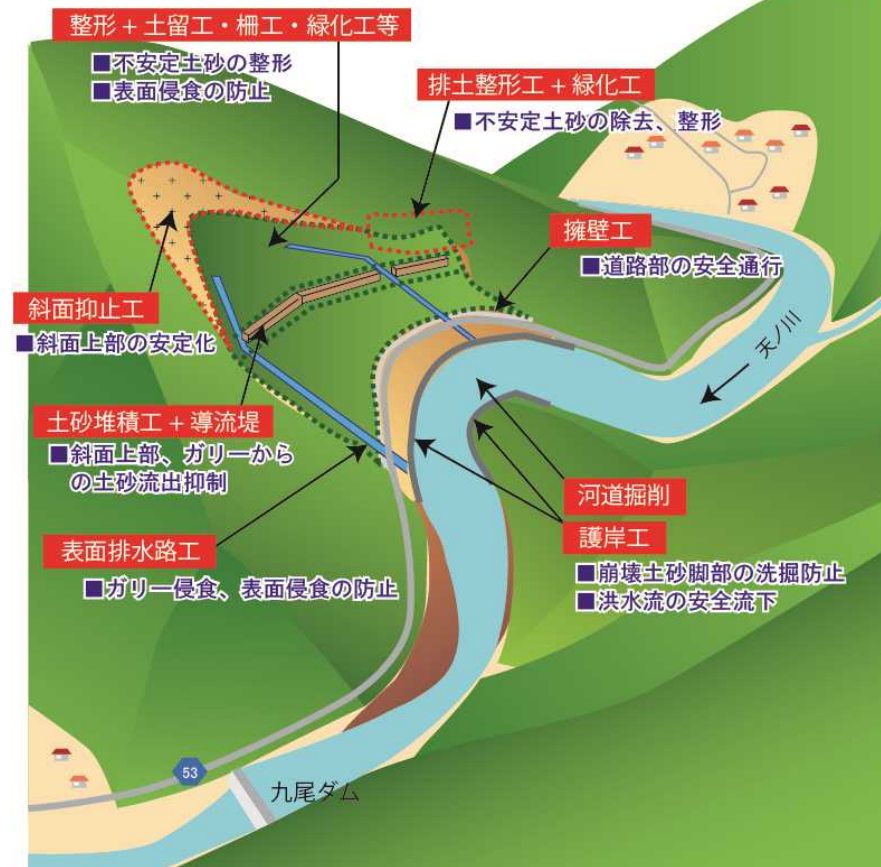
## 北股



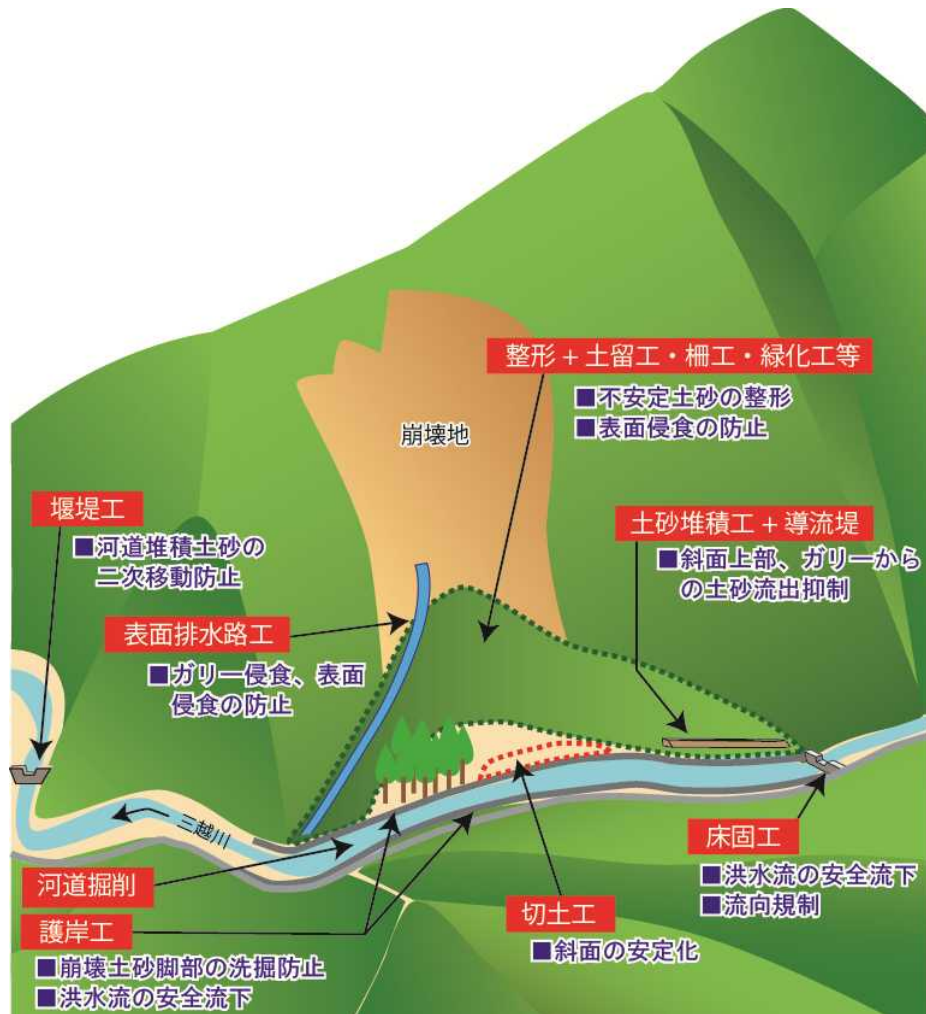
## 清水(宇井)



## 坪内



# 三越



## 赤谷

### 赤谷地区上流堰堤他工事

工期：平成25年11月15日～平成27年2月27日  
施工業者：鹿島建設(株)

### 赤谷地区周辺整備工事

工期：平成26年5月27日～平成27年2月27日  
施工業者：(株)山村組

### ①崩壊斜面 現況



### ②砂防堰堤工 施工状況



### ③砂防堰堤工 施工状況



※青塗りは完成した工種

H25.9.17撮影



## 長殿

### 長殿地区水路工設置他工事

工期：平成26年2月11日～平成27年2月27日  
施工業者：(株)鴻池組

### 長殿地区副堤他工事

工期：平成26年5月27日～平成27年2月27日  
施工業者：奈良県緑化土木協同組合



①砂防堰堤工 施工状況



②仮排水路 完成



③砂防堰堤工 施工状況



H25.9.17撮影

## 栗平

### 栗平地区水路工他設置工事

工期：平成26年3月7日～平成25年12月20日  
施工業者：大成建設(株)



H26.7.17撮影

H26.7.17撮影

H25.9.17撮影

## 北股

### 北股地区上流堰堤他工事

工期：平成26年2月26日～平成27年2月27日  
施工業者：(株)熊谷組

### 北股地区溪流保全他工事

工期：平成26年5月27日～平成27年2月27日  
施工業者：(株)山村組

①砂防堰堤工 完成



②工事用道路 施工状況



## 清水(宇井)

### 清水地区上部斜面对策他工事

工期：平成26年3月27日～平成26年7月31日

施工業者：ライト工業(株)

※青塗りは緊急対策工事で完成した工種

法面工(鉄筋挿入工)

上部法面工

防護土堤

②仮設護岸工 復旧完了

H26.7.11撮影

①法面工 現況

H26.7.11撮影

上部作業道

仮設護岸工

H25.9.17撮影

## 坪内

### ①掘削工 施工状況



熊野川水系坪内地区土砂災害対策工事  
工期：平成26年3月25日～平成26年7月31日  
施工業者：松塚建設(株)



### ②河道拡幅 現況



## 三越

※青塗りは完成した工種



**三越川三越地区堰堤他工事**  
工 期：平成26年3月25日～平成27年2月27日  
施工業者：泉・果無經常建設共同企業体



②流路護岸工 現況

H26.7.11撮影

①護岸工 施工状況

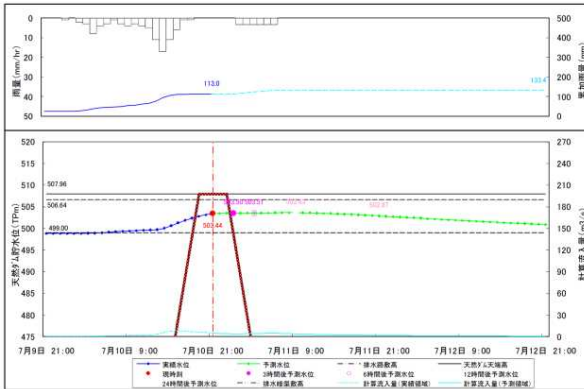


H26.7.11撮影

H25.9.17撮影

## < 湛水地の水位予測の実施 >

降雨量が多いと予測される場合に、湛水地における水位予測を毎時、実施している。越流や排水路からの溢水が予測される場合には、関係する市町村へ情報提供を行い、警戒避難への支援を行っている。



【水位予測の結果】

天然ダム災害対策関係者各位

○月○日○時時点の天然ダム水位予測の計算結果を送信いたします。

予測結果は以下のとおりです。

- ※満水状況 (仮排水路敷高への水位到達)
- <<貯留関数モデルによる計算>>
- 赤谷: 満水にならない
- 長殿: 満水にならない
- 栗平: 満水にならない

【関係者への連絡】

## < 24時間監視の実施 >

対策工事は進捗しているものの、湛水地を要する地区など、危険性を有していることから、監視員による24時間監視を継続している。現地の異常時には、関係者へ連絡が入ることとなっている。



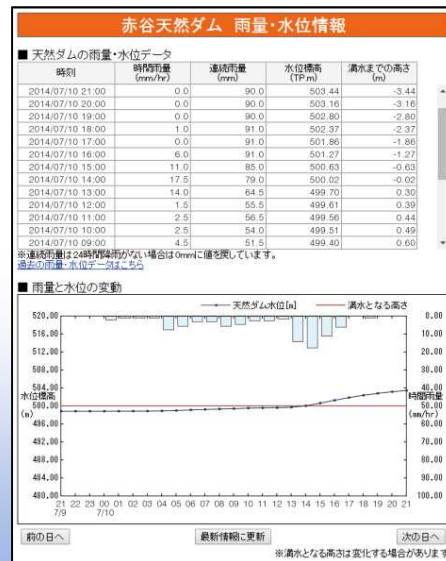
【監視員による監視状況】



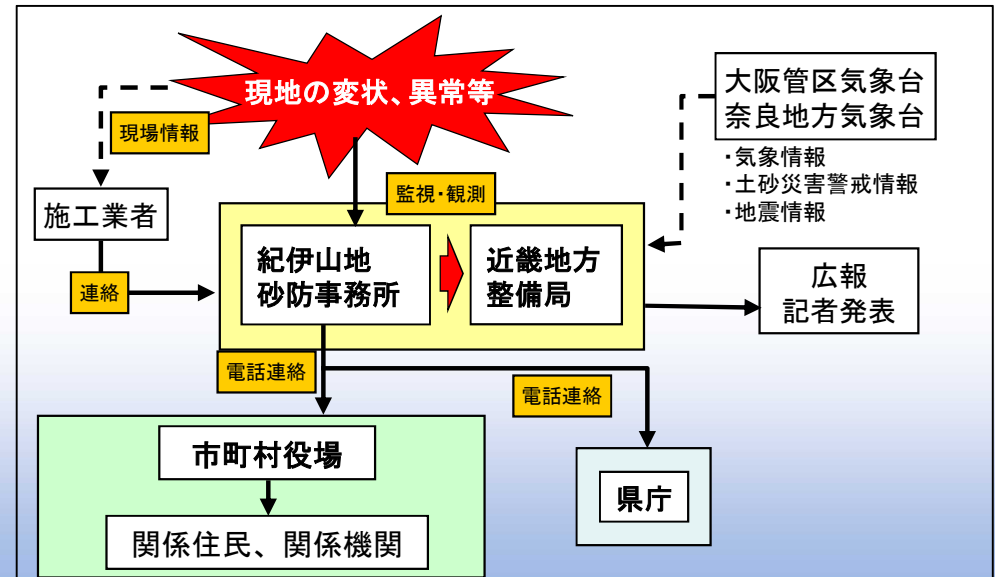
【監視映像の例(熊野地区)】

## < 緊急時や常時の情報発信体制の構築 >

平時や緊急時における情報発信体制を構築しており、紀伊山地砂防事務所のホームページにおいて、各地区の降雨状況や湛水地の水位状況について、情報提供を行っている。また、関係市町村や関係県との間において、緊急連絡体制を構築して、緊急時の情報共有を図っている。



【HPにて降雨・水位等を情報提供】



【緊急連絡体制の構築】